

事業名 「ハママツ・シビックプライド・プロジェクト」 ～次代の浜松の誇りの種を発見する～

実施主体	浜松まちなかにぎわい協議会
開催日	11月から3月
会場	セミナー:アクトシティ浜松研修交流センター
実施目的	<p>①市制100周年を契機とした浜松市民のシビックプライド(市民が都市に対してもつ自負と愛着)の醸成。</p> <p>②特にシビックプライドに根ざした、まちなかの人々のまちなか再生に向けた主体的な行動の喚起。</p> <p>③市民参加型事業の実施により浜松のシビックプライド育成の最初の第一歩を刻む(事業は次年度以降継続)。</p>

■実施内容

【プロジェクト①】シビックプライド・セミナー&交流会

開催内容／シビックプライド研究会から講師をお招きして、シビックプライドについての知識と浜松のシビックプライドについてのヒントを習得することを目的に開催。ゲストを交えてのクロストークショーを行い、浜松におけるシビックプライドについて深く討議する機会とした。

【プロジェクト②】ソウルフード募集

募集内容／「浜松でかつてよく食べられた懐かしい味」「もう一度食べたい今は無きあの店あの味」…。浜松人を魅了した浜松ならではの味、ハママツ フードを募集。これこそは浜松の味と言える食べ物を選考し、タウン情報誌「浜松百選」の協力で実際に食べ物を発見、または再現した。

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>まちなかに関心があるいろいろなジャンルの方がひとつのテーマに沿っていると議論でき、また、新しいネットワークの構築の糸口となった。</p>
	<p>●100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <p>今回参加いただいた150名の方を来年度以降、浜松まちなかにぎわい協議会としてのいろいろなワークショップに案内して、まちなかについてより深い活動を展開していく。</p>
入場者数または参加者数	セミナーへの参加人数 150名



事業名 パートナーシップ・ミーティング

実施主体	浜松市市民協働センター
開催日	平成23年6月24日(金)～26日(日)
会場	浜松市市民協働センター
実施目的	今の事業を発展させたり、新規事業を始めたりする団体の提案発表の場を設け、パートナーを探すべききっかけづくりの場を提供することにより、市民協働のさらなる拡充を図ることを目的に、従来から行われていた「たねからみのり事業」の提案募集を含め実施した。センター祭りとしての位置づけを図るため、昨年の「プレゼンテーションフォーラム」をさらに拡大して「パートナーシップ・ミーティング」とし、市民活動団体の活動の様子を紹介する機会を全館用いて実施するとともに、CSRに積極的に取り組む企業の紹介や、様々な助成金を紹介するコーナーも設け実施した。

■ 実施内容

- 市民活動団体ポスターセッション
- 企業のCSR及び助成金紹介コーナー
- マッチングルーム
- 講演会及びプレゼンテーションフォーラム、縁側パーティー
- 特別企画「東日本大震災支援事業」…岩手県物産展

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>ポスターセッション参加団体…市民団体13団体、行政及び企業…7団体 プレゼンテーションフォーラム発表団体…30団体 特別講演受講者約70名</p>
入場者数または参加者数	参加団体:40団体。聴講者:延べ約500名



事業名 浜松まちなかおもてなしプロジェクト

実施主体	浜松まちなかおもてなしプロジェクト実行委員
開催日	平成23年5月3日(火)から平成24年3月18日(日)まで全13回
会場	JR浜松駅北口(中心街案内看板付近)
実施目的	市制100周年を迎える浜松市の玄関口に、まち歩きが楽しくなるおもてなしや情報、休憩場等の提供を行なう案内施設を設置。浜松のまちなかを愛する市民ボランティアを最大の活動資源とし、自らがまちなかの魅力を高め、賑わいを創出することを目的とした。

■ 実施内容

- ① ボランティアスタッフを募集し「ミミびょんず」と命名。浜松についての勉強会9回&おもてなし活動13回開催。
- ② まちなかイベント、店舗情報、公共施設、交通、トイレ等の情報提供、道案内(ポータブルメディアプレーヤ、浜まちWEBの活用)。
- ③ スタッフ手づくりのまちなか『うなぎ&餃子マップ』の作成&発行。
- ④ 市民&スタッフ推薦おもてなし店舗表示ステッカーの発行。

実施結果	<p>● 事業成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民との連携により浜松の街中情報を来街者(5832組)へ発信し、浜松名物や歴史・観光スポット・まちなか情報等をPRできた。 ・学生から主婦、社会人など様々な年代の人達が集まり、多角的な視点で浜松を見つめ直すことができ良い情報交換の場となった。 ・手作りの『うなぎ&餃子マップ』については多方面から問い合わせがあり次年度以降も作成し継続事業となった。(観光バス・街中商店・子育てNPO法人・牧の原SAなど)
	<p>● 100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年以降もボランティアスタッフと共に自発的に活動していくこととなった。 ・イベント主催者や街中飲食店との連携体制をきづけたため、今後も来街者とのパイプ役としてにぎわい創出に寄与していく。
入場者数または参加者数	参加ボランティア延べ人数:78人 接客組数:5832組



事業名 浜松まち歩き博覧会2011

実施主体	浜松まちなかおもてなし隊(事務局:浜松まちなかにぎわい協議会)
開催日	平成23年10月1日～平成23年11月末のうち、任意の10日にて開催
会場	浜松市中心部
実施目的	浜松市誕生100年の機会に、浜松の歴史・文化・観光資源を整理し、浜松市の魅力を最大限に引き出して多くの方に浜松を好きになっていただくことを目的に実施した。「浜松まち歩き博覧会」は、「浜松の歴史(施設)・文化(施設)」・ウンチク+浜松グルメ+浜松土産」で構成。

■実施内容・実施結果

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>浜松観光ボランティアガイドの会、まちなか商店街の担当者、まちなか飲食店が協力しながら、まち歩きコースを作成し、博覧会を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 11/26(土)まちなかの魅力ぶらり再発見 参加者9名 10/22(土)ザ・まちなかおもてなしツアー 申込者1名 ←少数のため中止 11/6(日) 徳川まちなかさんぽ道 参加者13名 10/22(土)音楽さんぽ道 参加者10名 10/29(土)浜松と医学のストーリー 参加者4名 11/12(土)浜松グルメを食べ歩き! 参加者16名 11/12(土)まちなかパワースポット巡り 参加者14名 11/19(土)はままつ復興物語 申込者7名 ←大雨警報のため当日中止 10/30(日)「くるる」で新川・橋ものがたり 参加者9名 11/5(土)まちなかサイクリング 参加者4名
	<p>●100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <p>「浜松まち歩き博覧会」終了後も、観光客や市民がひとり歩きができるようにコースマップをホテル・観光インフォメーションセンターに設置しており、大変喜ばれている。</p> <p>来年度も「まち歩き博覧会」は継続して開催する予定である。</p>
入場者数または参加者数	87名



事業名 浜松大物産展と浜松の産業・歴史・文化探訪事業

実施主体	浜松商工会議所女性会
開催日	平成23年10月6日(木)～7日(金)
会場	アクトシティ浜松ほか
実施目的	浜松商工会議所女性会は、平成23年度が女性会創立10周年・市制100周年にあたることから、浜松での「おもてなし」を全面に、全国の女性会(403商工会議所、25,000名)3,000人を超える会員をお迎えしての、商工会議所女性会の全国大会を開催すべく誘致活動を展開し、平成19年に開催が決定した。この機会に、物産展、浜松の産業・文化・歴史探訪ツアー(エクスカーション)などを企画し、特に「やらまいか浜松」ブランド・地域土産品など浜松地域の主要製品の物産展を開催して、浜松を全国にPRするとともに、全国各地の皆さまと市民の交流の場の提供や物産品の購買による経済波及効果を期待、さらには、浜松の文化・歴史探訪ツアーなどにより、浜松の歴史的価値の周知と今後のリピート客誘客に向けた事業として実施した。

■実施内容

物産展では、浜松地域ブランド「やらまいか」商品、浜松市土産品協会、西部地域商工会など浜松市の主要商品が出展され、全国大会参加者のみならず、浜松市民も多数来場し、多くの人出で賑わった。会場内では、浜松市キャラクター「家康くん」「うなぎいぬ」の着ぐるみが回遊し、女性からの評判が良かった。浜松の産業・文化・歴史探訪ツアーでは、全国より73団体416名が参加、浜松城、浜松まつり会館、楽器博物館などの主要施設、スズキ歴史館・うなぎパイファクトリー・浜松酒造・静岡瀧布など企業視察、館山寺・ガーベラ花摘みなど観光地めぐりなどを実施し、浜松市の歴史的価値・産業観光・自然を堪能した。



実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>物産展の開催を通じ、浜松を代表する「うなぎ」「餃子」「食材」など実店舗販売を通じ、食文化の豊かさを全国にPRすることができ、一方で地元住民に対しても、浜松地域の物産認知の深耕を図ることができた。東日本大震災をうけ「東北支援ゾーン」を設け、いわき商工会議所の協力により東北六県の物産を販売し、被災地との絆を深めることができた。開催後に出店者向けに実施したアンケートでも、売上げ等概ね満足できる結果であるとの回答が得られた。(売上げ推計 91社 約2,000万円)産業・文化・歴史探訪ツアーでは、大河ドラマ「お江」の関係から浜松城コースへの参加者が多く、また浜名湖周辺の観光地への誘客にも繋がった。このほか、スズキ歴史館うなぎパイファクトリー、静岡瀧布、ガーベラ花摘み等広範囲にわたる産業観光のメニューに対し、定員を上回る参加申込みがあり、結果も好評であった。</p>
	<p>●100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <p>今後は、物産展の開催を通じビジネスチャンスを生み出せる場づくりに努めるとともに、これらの対応や交流を通じ、女性の観点からの意見を吸い上げ、地域経済界にフィードバックし、より良い商品の造成や観光誘客策の参考としたい。NHK大河ドラマ「お江」の放映中で、徳川家康が居城していた浜松城は、皆興味深く説明に聞き入るなど今後のリピート客に大いに期待が持てる。</p>
入場者数または参加者数	約5,000人



事業名 第1回遠州はままつ歌謡選手権大会

実施主体	浜松市内商工会連絡協議会
開催日	予選会 平成23年 8月7日、本選会 平成23年10月2日
会場	天竜壬生ホール
実施目的	浜松の音楽振興の新たなジャンルとして、多くの市民に愛され続けている大衆音楽を柱とした、「遠州はままつ歌謡選手権大会」を開催し、願わくば浜松市を代表するプロの大衆音楽歌手誕生を期する、本協議会が連携して取り組む初めての企画。「遠州はままつ歌謡選手権大会」は、先行している高度な音楽ジャンルではなく、多くの一般市民などが音を楽しむ機会づくりとなり、人と人との交流をはじめ、心の豊かさの醸成や日常生活における潤い空間を育む好機と考え、日頃の練習成果を発表する場として、浜松地域大衆音楽文化の発展に寄与することを目的として実施した。

■実施内容

予選会の申込者数二百数十名であったが、当日は、198名の実参加で本選への進出可否を選考した。一般最年少は10歳で、シニア最年長は89歳、西は豊橋市・東は伊豆市・北は東栄町からの参加者であった。予選会の審査委員長は、ケグリ音楽事務所 主宰森下松彦氏のほか、審査委員1名会場には、延べで600名を超える程の市民の方々が入場された。本選会は、一般51名・シニア32名により、グランプリ(浜松市長賞)を目指して歌声の競演が行われ、グランプリ1名のほか五つの賞を一般・シニアそれぞれから1名の合計10名の受賞者を選考し、浜松市長の参席を賜り表彰式を催した。本選会の審査委員長は、伊藤音楽事務所 主宰 伊藤雪彦氏のほか審査委員2名で、会場には、概ね350名を超える市民の方々の入場を頂いた。

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <p>次の世紀に向かって「音楽のまち・浜松」として、老若男女が集える新たなジャンル開拓となり、多くの市民や市外・県外参加者などの参画を得て浜松市の誕生を祝った。</p>
	<p>●100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <p>「音楽のまち・浜松」をより一層充実したものとするために、老若男女ひろく一般の市民の方々から親しまれ・愛されている、新ジャンルとしての「大衆音楽(歌謡曲等)」の歌謡選手権開催は、高齢者を中心に趣味・趣向の新たな機会づくりになると共に、特に、高齢化の進む現代社会においては、高齢者の健康の維持増進効果が発揮される。</p>
入場者数または参加者数	1,231人



事業名 「体育の日」記念事業 浜松みんなのスポーツまつり

実施主体	財団法人浜松市体育協会
開催日	平成23年10月10日(月・祝)体育の日
会場	浜松市四ツ池公園(浜松球場・陸上競技場・第2球場・自由広場)
実施目的	市民が健康で、文化的な、明るい生活を営むため、スポーツを振興して、健康の保持とたくましい体力の増進をめざすきっかけとするとともに、体育の日を記念して、秋空のもと、市民の誰もが自由に参加し、汗を流してともに喜び、語り合える場を設け、市民スポーツの一層の普及啓発を図ることを目的として実施した。

■ 実施内容

当日、夏のような強い日差しがある中、予定していた全てのプログラム内容を実施することができた。野球の招待試合は東海大相模高校が来場して二試合を行い、約1,000人の観客を沸かせた。陸上競技場では、例年実施している校区対抗小学生リレーを始め、お楽しみリレーなど飛び入り参加可能な種目に子どもからお年寄りまで多くの方が一緒になって体を動かし、楽しんでいる様子が伺えた。第2球場は軽スポーツを体験する来場者で賑わいをみせ、自由広場では120人の方が新体力テストを実施してくれた。また、出店・飲食ブースは、疲れた体を休めエネルギー補給ができると好評。池の方までのコースをレクチャーするノルディック・ウォーク体験も初の試みだったが、参加者からまたやりたいという嬉しい声もいただけた。

実施結果	<p>●事業成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ご来場の皆さんには、試合観戦したり自ら体を動かしたりとスポーツに触れてもらい、美味しい食事と楽しい会話で心身ともに充実した時間を過ごしていただけた。 これまで来場されたことのなかった方々に、足を運んでいただけた。
	<p>●100周年以降へのつながり(成果・効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 体を動かす楽しさや、仲間との笑い・感動を共有したことは、日頃の運動やストレス発散の大切さについて考えていただく良いきっかけになった。 今後の運動に対する意欲を掻き立てることのできた事業になった。
入場者数または参加者数	3,700人(球場来場者1,000人、競技場来場者・参加者2,700人)

